

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

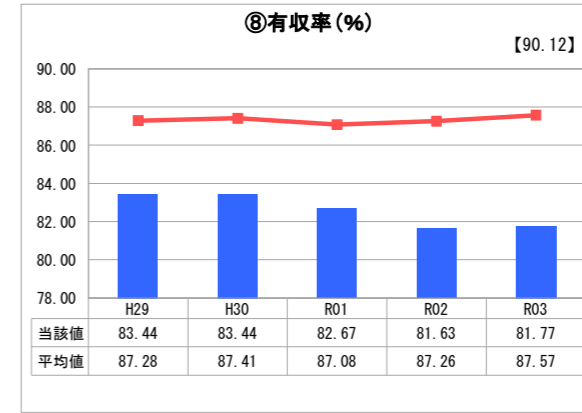
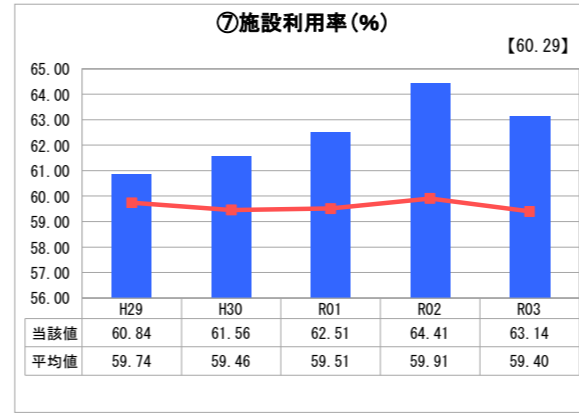
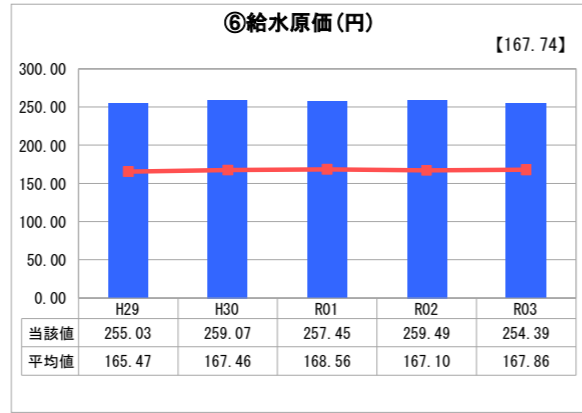
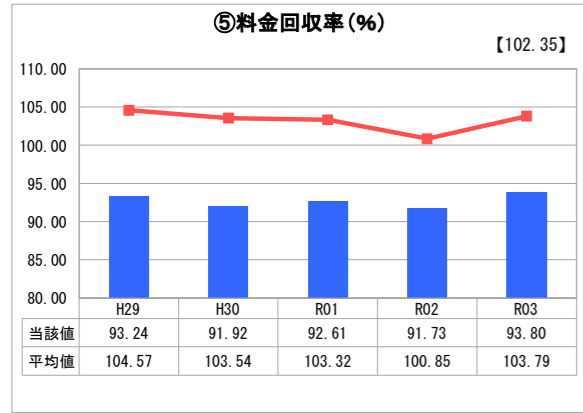
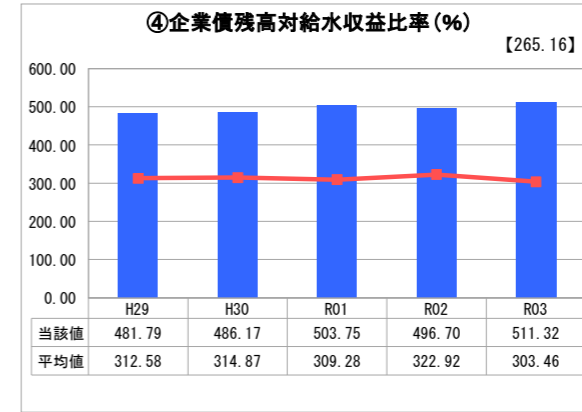
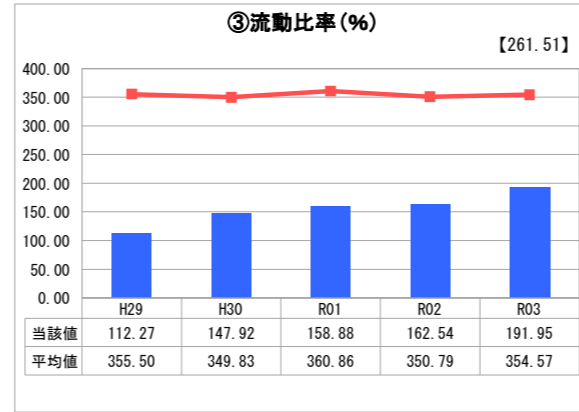
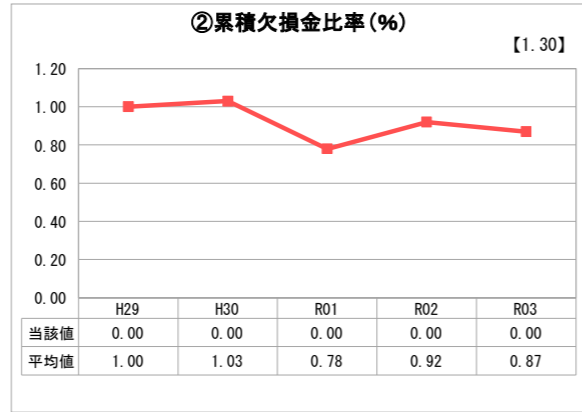
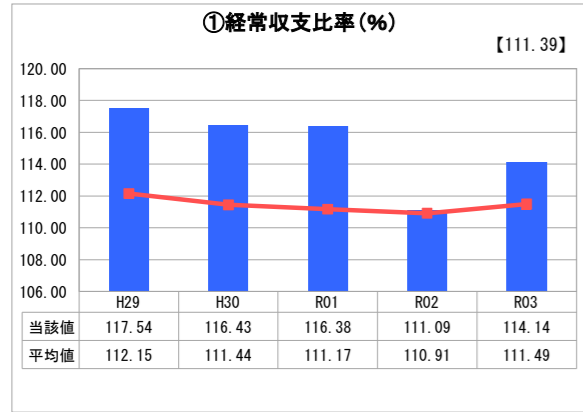
千葉県 香取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	60.23	74.17	4,730	

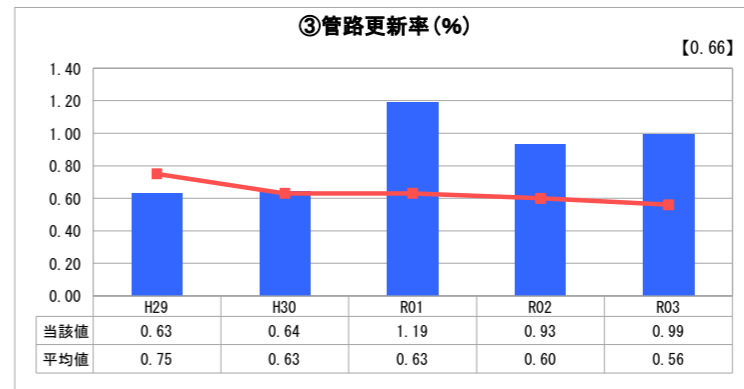
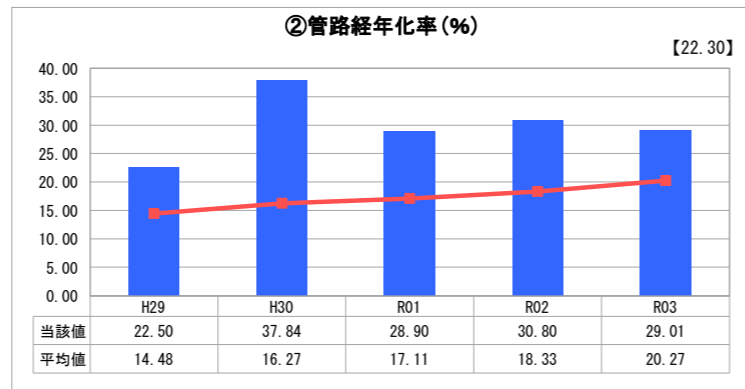
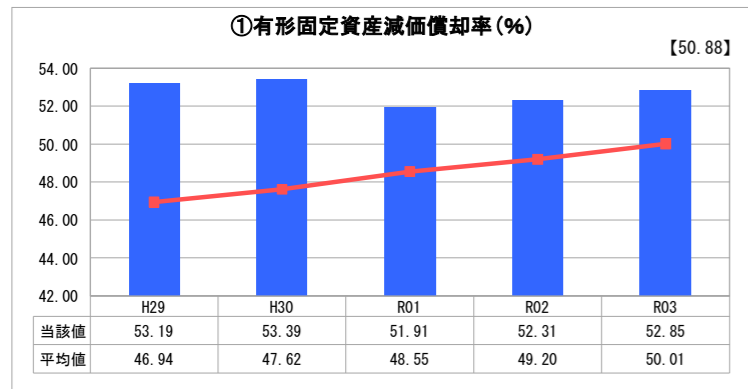
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
73,129	262.35	278.75
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,857	171.19	314.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、経常費用の減少を背景に前年度より上昇し、また、基準となる100%を上回っています。  
 ② 累積欠損金比率は、累積欠損金が存在しないため該当なしとなっています。  
 ③ 流動比率は、未払金等の減少から前年度より上昇し、また、基準となる100%を大きく上回っているため、短期支払能力は問題ありません。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、施設拡張及び管路更新のため企業債残高が増加したため、類似団体の平均値に比して高い数値となっています。  
 ⑤ 料金回収率は、前年度より改善していますが、依然として100%を下回っているため、給水費用を給水収益以外の収益で賄っている状態が継続しています。  
 ⑥ 給水原価は、経常費用の減少もあり前年度より減少しましたが、依然として類似団体の平均値より高い数値となっています。  
 ⑦ 施設利用率は、配水量の減少に伴い、前年度より低下していますが、依然として類似団体の平均値よりは高い水準を保っています。  
 ⑧ 有収率は、有収水量の減少が配水量の減少を上回ったため、前年度数値から減少し、依然として類似団体の平均値を下回っています。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、前年度よりも上昇し、類似団体の平均値を上回っているため、類似団体以上に、固定資産の更新時期が迫っており、適正な更新計画立案やその裏付けとなる財源確保が必要な状況と言えます。  
 ② 管路経年化率は、昨年よりも改善しているものの、依然として類似団体の平均値より高く、管路の老朽化が進行している状態です。  
 ③ 管路更新率は、前年度数値より僅かながら改善し、類似団体の平均値を上回っています。しかしながら、安定した水道供給を図るため、さらに管路更新を推し進める必要があります。

## 全体総括

1. 経営の健全性・効率性  
 経常収支比率から短期支払能力に問題はなく、財政的には健全と言えますが、その一方で、有収率が低水準のため、施設利用率が比較的良好であっても収益の確保にはつながらない現状となっています。今後は収益の効率性を高めるため、管路更新等をさらに推し進める必要があります。

2. 老朽化の状況  
 管路経年化率が高く、多くの管路が更新時期となっているため、管路の更新を推し進め、安定した水道供給を継続する必要があります。